

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 7 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-16618 (P2000-16618A)
【公開日】平成 12 年 1 月 18 日 (2000.1.18)
【出願番号】特願 平 10-190501
【国際特許分類第 7 版】

B 6 5 H 3/46

B 6 5 H 3/52

【F I】

B 6 5 H 3/46 C

B 6 5 H 3/52 3 3 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 6 日 (2005.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周面に静電潜像が形成される像担持体を備えた装置本体と、
この装置本体内に配置され、指示信号にもとづいて上記像担持体に向けて用紙を 1 枚づつ給出する給紙手段を具備した画像形成装置において、
上記給紙手段は、装置本体に対して出し入れ自在に収容され、
この給紙手段に、上記装置本体からの給紙手段の取出しと連動して、給紙途中で詰まった用紙を自由解放する紙詰まり解除手段が付設されることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

周面に静電潜像が形成される像担持体を備えた装置本体と、
この装置本体内に配置され、指示信号にもとづいて上記像担持体に向けて用紙を 1 枚づつ給出する給紙手段を具備した画像形成装置において、
上記給紙手段は、装置本体側面部に用紙補充用のドアを備え、
上記給紙手段に、上記用紙補充用のドアの開放と連動して、給紙途中で詰まった用紙を自由解放する紙詰まり解除手段が付設されることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3】

周面に静電潜像が形成される像担持体を備えた装置本体と、
この装置本体内に配置され、互いに転接する給紙ローラと分離ローラを備え、上記像担持体に向けて用紙を 1 枚づつ手差しによって給出する手差し用給紙装置を具備した画像形成装置において、
上記手差し用給紙装置は、
上記装置本体外装のドアの開閉に連動して給紙ローラから分離ローラを離間させ、給紙途中で詰まった用紙を自由解放する紙詰まり解除手段が付設されることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

上記目的を満足するためさらに他の発明の画像形成装置は、請求項 3 として、周面に静電潜像が形成される像担持体を備えた装置本体と、この装置本体内に配置され、互いに転接する給紙ローラと分離ローラを備え、上記像担持体に向けて用紙を 1 枚ずつ手差しによって給出する手差し用給紙装置を具備した画像形成装置において、上記手差し用給紙装置は、上記装置本体外装のドアの開閉に連動して給紙ローラから分離ローラを離間させ、給紙途中で詰まった用紙を自由解放する紙詰まり解除手段が付設されることを特徴とする。

このような課題を解決する手段を採用することにより、画像形成装置において紙詰まりが生じて、詰まった用紙をそのまま破断することなく、極く容易に取出すことができる。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 2 8 】

上記加圧解除機構 3 0 の構成部品を支持するユニットフレーム 3 1 は大容量給紙装置 1 5 に取付けられ一体となっている。このユニットフレーム 3 1 には第 1 のピン 3 2 が植設され、これはほぼ三角状をなす回動レバー 3 3 の頂点部分に設けられる孔部 3 3 a に挿通される。したがって、回動レバー 3 3 は第 1 のピン 3 2 を支点として水平方向に回動自在に支持されることになる。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 3 6 】

しかして、原稿載置台 1 0 に原稿 W をセットしてコピースイッチをオンすると、光学系 8 が原稿面を露光走査して、露光部 4 において感光体ドラム 1 の周面に原稿像が結像される。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 4 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 4 7 】

その作業としては、大容量給紙装置 1 5 を複写機本体 S から引き出すだけである。すると、この大容量給紙装置 1 5 に付設される加圧解除機構 3 0が作用して給紙ローラ 5 0 から分離ローラ 5 1 を離間させ、ここに挟持していた用紙部分を自由開放する。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 4 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 4 8 】

なお説明すると、大容量給紙装置 1 5 の引き出しにともなって、この装置 1 5 と一体の加圧解除機構 3 0を構成するユニットフレーム 3 1 が移動する。したがって、上記機構 3 0 の回動レバー 3 3 が本体フレーム S a から離間する。本体フレーム S a の回動レバー 3 3 に対する回動付勢力が解除されるので、リンク 3 5 を介して引張りばね 3 6 の弾性付勢力が回動レバー 3 3 に作用し、このレバー 3 3 は時計回り方向に回動変位する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

図6に示すように、上記用紙補充用ドア61の裏面側には突起62が一体に設けられ、裏面側である複写機本体S内へ突出している。ドア61を閉成した状態で、突起62の先端部は加圧解除機構30Aを構成する受け用レバー63に当接する。上記ドア61を開放すれば、当然、突起62は受け用レバー63から離間する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施の形態に係わる、電子複写機の概略の断面図。

【図2】

第1の実施の形態に係わる、給紙ローラと分離ローラに対する加圧解除機構の構成を示す斜視図。

【図3】

同実施の形態に係わる、加圧解除機構の構成を示す側面図。

【図4】

同実施の形態に係わる、加圧解除機構の作用を説明する図。

【図5】

第2の実施の形態に係わる、電子複写機の外観斜視図。

【図6】

同実施の形態に係わる、加圧解除機構の構成を説明する透視図。

【図7】

同実施の形態に係わる、加圧解除機構の作用を説明する図。

【図8】

同実施の形態に係わる、加圧解除機構の構成を示す斜視図。

【図9】

紙詰まりを説明する図。

【図10】

紙詰まり時における大容量給紙装置を取外す状態を示す図。

【符号の説明】

1...像担持体(感光体ドラム)、S...装置本体(複写機本体)、15...給紙手段(大容量給紙装置)、30, 30A...紙詰まり解除手段(加圧解除機構)、50...給紙ローラ、51...分離ローラ、61...用紙補充用ドア、16...手差し用給紙装置。